

事業所名

児童発達支援ありんこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

1

月

20

日

法人（事業所）理念		だれもが「人として」の尊厳をもち、何事にも感謝を忘れず、お子さま一人一人の発達や個性、特性に合わせた療育的配慮のもと、保護者と共にお子さまの発達について考え、喜び、学び合う事を理念とする。										
支援方針		「5領域の支援」を中心にお子さま一人一人の発達や個性、特性に合わせた療育的配慮のもと、個人に寄り添い個々の本来持っている力を引き出し、伸ばしていく。										
営業時間		8	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	*健康状態の維持・改善*基本的な生活スキルの獲得*生活のリズムや生活習慣の形成 療育施設を利用する事で個々の子どもに見合った身辺自立や身体的、精神的、社会的スキルを獲得する。										
	運動・感覚	*姿勢と運動・動作の向上*姿勢と運動・動作の補助的な手段の活用*保有する感覚の統合的な活用 保有する感覚や現状を見極め体幹運動や動作の改善、筋力の維持や強化、拘縮や変形の予防に務める。感覚や認知の特性を踏まえ感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。										
	認知・行動	*認知の発達と行動の習得*空間・時間・数等の概念形成の習得・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 視覚・聴覚・環境等から情報を取得し行動に繋げる一連の認知過程の発達の支援を行う。また、数量、大小、色等の習得や行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。										
	言語 コミュニケーション	*言語の形成と活用*言語の受容及び表出*コミュニケーションの基本的能力の向上*コミュニケーション手段の選択と活用 物や体験と言葉の意味を結び付ける、言葉や文字を使って相手の意図を理解したり自分の考えが伝えられるよう支援する。コミュニケーション能力向上のための支援を行い指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達出来るよう支援する。また、絵カード等のコミュニケーションツールを活用し意思伝達出来るよう支援する。										
	人間関係 社会性	*他者との関わりの形成*自己の理解と行動への調整*仲間作りと集団への参加 周囲の人と安定した関係の形成や遊びを通じ人の動きを模倣する事で社会性や対人関係の芽生えを支援する。一人遊びから共同遊びへの支援や事故の理解と感情のコントロール、集団への参加の支援を行う。										
家族支援		送迎サービスを行っており、その際にはきょうだい児や家庭での様子、相談事などモニタリングとは違った細やかな連携や支援を行っている					移行支援		就学に向けての移行支援では、それまで行ってきた支援や配慮等の情報を提供し必要に応じて連携していきます。			
地域支援・地域連携		地域の子育て学習センター等を定期的に利用する事で地域やその他の子供や保護者と関わる機会を設けている					職員の質の向上		虐待防止関連や、避難訓練等を定期的実施しており日々の連絡・相談・報告も徹底し情報共有を行っている			
主な行事等		・お花見・プール活動・夏祭り・ハロウィーン・クリスマス会・豆まき・ひな祭りなど										